

===== メルマガ【実践留学道場】オリジナル書籍 =====

『続・あなたも取れるTOEIC900点!』

～ TOEIC高得点への近道 ～

=====

(サンプル)

編著・メルマガ【実践留学道場】道場主
多門院 英蔵

2009年9月吉日 発行
Rev. 2.1

●まえがき

本書は、その名の通り『あなたも取れるTOEIC900点!』の続編です。前著では、TOEIC初心者がいわゆるAレベルである860点以上取得を目指すことを中心に、基本的なことを中心に書きましたが、本著では、初心者の860点突破はもちろんのこと、中級者には900点あるいはそれ以上の点数を取得して頂くことを狙っています。

本書は、前書の『あなたも取れるTOEICで900点!』をお読みでない方も、既に読まれた方も両方の読者を幅広くカバーしています。ただ、前著でも書きましたが、本書はいわゆるTOEIC高得点のテクニックだけを追っているのではなく、私がいつも提唱しています真の「実践英語力」を身につけてもらい、その結果、証としてのTOEICでの高得点を狙っています。そうすれば、おのずとTOEICでも高得点が取得できるのです。

本書を読めば、他のTOEIC関連のノウハウ書は読まなくても、自分自身の今後のTOEICに対しての取り組み方のみでなく、英語学習全体に対しての取り組み方に対しても十分見えてくるでしょう。巷で売られている数万円のTOEIC教材、ノウハウ本に値する内容であると自負しています。

本書の構成としては、過去メルマガ【実践留学道場】に連載して好評であったコラム『実践TOEIC攻略講座』を再編集した形となっており、かなりのボリュームとなっています。

内容としては、大きく、TOEIC初心者向けの入門編が8講座、初心者が更なる高得点を目指す為の実践ノウハウを解説した実践編が8講座、中級者が900点以上を突破する為のコツを解説した活用編が10講座の、合計26講座にわたる講座形式の構成となっています。

この講座は、TOEIC初心者から上級者まで楽しく読んで即実践で役立つ内容を網羅しており、新形式のTOEICも、もちろん対象としています。

本書はノウハウ書であり、更には、あなたのTOEICトレーニングのアドバイザー的な位置づけの書籍でもあります。最初から一講座ずつ着実にステップアップしながら読むことにより、全26講座を読破されたあなたは、きっとTOEIC900点を取得されることでしょう。

どうぞ本書を最大限に活用され、意義のあるTOEIC高得点取得に向かって励まれて下さい。
(本書は、過去メルマガ【実践留学道場】に連載したものを再編成しています関係上、記述中にメルマガ読者を意識した表現がありますので、ご了解願います。)

メルマガ【実践留学道場】道場主
多門院 英蔵

【 目次 】

- まえがき 2
- 第1章： 入門編—TOEIC初心者のために 5
 - 【第1-1講：イントロ】
 - 【第1-2講：TOEICテストに勝つ！】
 - 【第1-3講：己を知って、敵(TOEIC)に勝つ！】
 - 【第1-4講：新形式TOEICの実態は？】
 - 【第1-5講：TOEIC高得点への英語力】
 - 【第1-6講：TOEIC攻略実践ノウハウ[リーディング編]】
 - 【第1-7講：TOEIC攻略実践ノウハウ[リスニング編]】
 - 【第1-8講：たかがTOEIC、されどTOEIC！】
- 第2章： 実践編—更なる高得点取得のために 76
 - 【第2-1講：効果的な英語トレーニング継続のために】
 - 【第2-2講：実践英語トレーニングのコツ】
 - 【第2-3講：精読 v. s. 多読】
 - 【第2-4講：ディクテーションの効能】
 - 【第2-5講：TOEICテストは時間との戦い】
 - 【第2-6講：TOEIC攻略上級実践ノウハウ[リスニング編]】
 - 【第2-7講：TOEIC攻略上級実践ノウハウ[リーディング編]】
 - 【第2-8講：更なる高得点取得のために】
- 第3章： 活用編—TOEIC上級者目指して 142
 - 【第3-1講：イントロ：TOEICとは！？】
 - 【第3-2講：使える英語の効果的習得法！】
 - 【第3-3講：TOEICは実社会で有利！？】
 - 【第3-4講：実践英語マスターのポイント】
 - 【第3-5講：TOEICで900点突破に向けて！】
 - 【第3-6講：過去のTOEICスコアの分析が重要！】
 - 【第3-7講：TOEICスコアの詳細分析1】
 - 【第3-8講：TOEICスコアの詳細分析2】
 - 【第3-9講：TOEICスコアの詳細分析3】
 - 【最終講：実社会でのTOEICスコア】
- あとがき 200

●第1章： 入門編—TOEIC初心者のために

今回から始まります新コラム、『実践TOEIC攻略講座(入門編)』単にTOEICの高得点を目指すだけ無く、実践英語力を身につけつつ、その結果としてのTOEICでの高得点を目指して貰うという講座です。どうぞ、第1講から毎週お読み下さい。

また、このコラムを読んだ後は、実践できることは即実行に移して下さい。単に読むだけでは、力はつきません。自分自身で実践することが重要です。読者の皆さんと一体となった講座にして行きたいと考えていますので、最後まで、頑張ってお読み下さい。

【第1-1講：イントロ】

今回は、初回ですので、まずは、イントロ(Introduction)として、既に、ブログやホームページでも一部ご紹介していますが、本講座の主旨、内容概要等々を、ご説明しておきましょう。

TOEICテストは、留学生にはなじみのある、TOEFLやSAT、GRE等々を実施しています、米国にある非営利テスト開発機関である、Educational Testing Service(ETS)によって開発・制作されたテストです。TOEICは1979年から実施されていますので、もう、かれこれ30年の歴史を持つこととなります。

そうとは言え、TOEICが巷で有名になってきたのは、ここ20年くらいだと思います。私がこのページ(2)

ストのことを知って一番最初に受験したのが、会社に入ってしばらくした頃ですが、これも20年位前のことです。

整理が悪いので、一番最初に受験したときのスコアレポートが残っていませんが、確か600点台であり、700点台に乗っていませんでした。

その頃は、730点以上がLPIというスピーキングテストの受験資格があり、まずは730点を取得して、その2次試験ともいえるLPIテストを受験したいと、切に思った記憶があります。(LPIとは、Language Proficiency Interviewの略であり、私は実際に、その後、このLPIテストを何度か受験したこともあります。このLPIや、最近始めましたSpeaking&Writingテストに関しては、講座の中でまた別途解説してゆきましょう。多分、応用編に入ってからになるかと思いますが、...))

「なんだ、最初からTOEICでそんな点数を取れていたんじゃないか、TOEIC入門編と言っても、自分の英語力ではついていけないかな？」と思った方がおられたとしたら、それは大間違いです。実は、私は、自分では英語は得意と思っていましたが、会社に入ってから、初めて受験した英検2級(あの有名な実用英語検定です)の、2次試験も合格しないような実力だったのです。つまり、学校で習う英語で良い点数が取れて入れも、実際に使える英語、TOEICや英検で高得点が取れる英語力とは大きな乖離があったのです。

このあたりは、以前からメルマガの中でも、自分の英語学習履歴のような感じでご紹介していますように、私は英語は専門ではありませんが、”英語”には中学生の頃から大変興味があり、それゆえ得意科目でした。(大学は理系でしたが、それ以前もその後も、英語は得意科目でした。)

しかし、話せないのです、ネイティブの言っていることが良く聞き取れないのです、...。事実として。

「何故？、あれだけ学校のテストでは筆記でも、リスニングでも良い点数を取れるのに？、どうして？」

これが中学生の頃からの自分自身の”英語”に対しての大きな疑問であり、その後の自己学習の中で解明され、結果として実践英語や、TOEICの高得点に至った”鍵”なのです。

この”鍵”をこの一連の講座の中で読者の皆さんに伝授して行きたいと思っています。

○本講座の主旨、講座概要

上記のようなかたちでの講座ですが、次に本講座の主旨、内容をもう少し、詳しくお話しておきましょう。

TOEICテスト、実施されてから相変わらずTOEICを受験される方が多いのか、私のホームページの中の「新・TOEIC高得点取得の秘訣」コラムへのアクセスも最近多くなってきています。

また、逆に、TOEICテストを未だ受験したことが無いという「TOEIC初心者」の方々からも勉強方法等々教えて貰いたいという要望も出てきており、これらの要望に対応しなければならないと最近、感じていました。

そして、そのような目的で、この『実践TOEIC攻略講座』、特に、初心者向けの入門編を執筆しようという決心した次第です。

入門編といっても、既にTOEICを何度か受験された方から、これまでトライしたが、なかなか高得点を取れないといった方々までが楽しく読めて、真の実践英語力が身につく、その結果として、TOEIC高得点取得のノウハウも学べるような講座にしたいと考えています。

よって、既に上級レベルの方も、是非、自分の英語力を再度検証&ブラッシュアップする意味でも、最初から継続して読まれたほうが良いでしょう。

(推理小説も、途中や結論だけ読んでも味気ないですね。最初からじっくり読んで、本当の面白みが味わえます。これと同じと考えてください。)

以前、『実践留学講座』開催時は、受講者(もちろん無償です!)を登録し、単位制のシラバス(講義概要のようなもの)も設け、途中、課題(テスト)も実施し、修了者には修了証および賞品も授与しましたが、今回の講座は、多くの皆さんが、もっと自由な感じで、かつ、気楽に楽しんで読めるような形で実施したいと考えています。

それぞれ、何回くらいの連載コラムになるか、現時点未定ですが、TOEICのテスト実施にあわせて、各編1~2ヶ月くらいになるかな、と思っています。

(著者注:最終的に26回の講座となりました!)

よって、たった1年ほどで、DレベルからAレベルに到達して貰うと言う、大胆な講座です!最後まで私が執筆でき、かつ、読者の皆さんがこのノウハウを実践すれば、です。因みに、私はBレベルまでは比較的たやすく到達できたのですが、Aレベル突破から、900点突破迄、ほんの数点のアップなのですが、色々苦労しながら、実際何年もかかっています。しかし、念願の900点を突破できた時は、すごく嬉しかったです!

(是非、皆さんには出来るだけ早く、同様の嬉しさを実現して貰いたいと思っています。TOEIC初心者からだと1年では難しいかも知れません。しかし、継続すれば、必ず出来ます！)

私自身も、講座の全容を走りながら考えています。結構、本業で多忙な時も多々ありますので、途中で挫折となった際には、お許し下さい！

(著者注：何とか読者の皆さんのご声援のおかげで、最後まで続けました！)

そして、最終的には、少なくとも、私の実力(それほど大したモノではありませんが、一応TOEICで900点を軽く超えることが出来、米国の大学院で修士号を取得できるくらいの力)以上の実践英語力を皆さんが習得できることを最終目標としたいと思います。

(これで、メルマガのタイトル【実践留学道場】とも離れないですみますね。良かった、良かった。)

よって、単にTOEICの点数を上げることだけが、この講座の目的ではありませんので、その点ご理解下さい。

私自身、新形式のTOEICでも900点を何度も突破しており、また、少ない小遣いの中からあの高いTOEIC受験も出費がかさみ大変ですので、その後、当初の990点満点を目指す、という意気込みが消えかけています。しかし、再度、このコラムを執筆しつつ、読者の方々と一緒にTOEIC満点取得へ向けて歩み出したいと思っています！

巷には、TOEIC関連の情報や教材があふれていますが、出来る限りお金を掛けずに、真の実践英語力を身につけた上で、その証として、TOEIC高得点もゲットしましょう！

では、次回の第1-2講より、本格的なトレーニングを開始しましょう。是非、頑張ってください。最後にオマケです。

【英語トレーニング継続のヒント】

・できれば、チェックリストのようなものを作り、いつ、この講座を読み、何を実施したかを記録して行くのも良いでしょう。人間、積極的にやると、それにつれてモチベーションも上がり、相乗効果が生まれますが、単に言われたことだけをやっているだけだと、長続きしません。

・私は、『TOEICテスト英語学習ダイアリー』と言う書籍(丸善発行で1,000円です。そのうちこの講座の中でもご紹介します)を買って、これに毎日の英語トレーニング記録やTOEICの受験記録をつけて管理していましたが、別にこれでもなくても、何でも良いでしょう。目に見える形で、自分のやったことを管理することが、モチベーション維持のために重要ですので。

以上、地味な英語トレーニングを継続させるためのヒントをオマケとして最後にお送りしました。(ことわざにもあるように、「継続は力なり」です！)

あと、私自身が作ったことわざ(川柳?)をご紹介します、この第1講を終えることとします。

「英語上達、王道無きも、近道あり！」

【第1-2講：TOEICテストに勝つ！】

よく、「敵に勝つには、敵を良く知れ！」と言われる。また、「敵を知るには、先ず己を知れ！」とも言われます。これは、TOEICに対しても当てはまることです。

敵、つまり、TOEICテストの内容、勘所を良く知ることはもちろん重要です。しかし、敢えて私は、先ず「己」つまり、TOEICテストにトライしようとしています、あなた方ご自身の現在の立ち居地、つまり、現在の英語力、その他の関連する知識や能力を、先ず見極めることが重要と考えます。

自分自身を良く知って、初めて、敵、すなわちTOEICへの対策も明確になってくるからです。今回の第2講は、このあたりを中心に講義致します。

○ TOEICテストは誰でも受験できる！

前回の第1講にて、TOEICテストの概要をご紹介しましたが、TOEICテストの正式名称は、あまり知られていないかも知れません。

日本語では、「国際コミュニケーション英語能力テスト」、英語では、“Test of English for International Communication”となっています。

よく、TOEICは、会社で必要なビジネス英語のテストだと、言われる方もありますが、正確にはこれは正しくありません。

別にビジネスパーソンでなくても、子供でも、英語さえできれば、英語でコミュニケーションを出来る人であれば、誰でも受験することが可能です。実際、帰国子女の学生さん何んかも多数受験されており、高得点をとっておられる人もいますが、彼らの英語力が会社の実務で即通用するかと言えば、これはまた別の問題です。まずは、このあたりをよくご理解願います。

米国の大学、大学院で学ぶ留学生の英語力を評価する、あの有名なTOEFL (Test of English as a Foreign Language)があるように、英語でのコミュニケーション能力をはかる目安のテストとして、このTOEICがあるのです。

○ TOEICテストはビジネス英語のテストではないの？

よって、TOEICは、英語でのビジネス力を試すテストである、とはどこにも書かれていません。ただ、昨今、企業ではこのTOEICを国際ビジネス能力の尺度のように過度に評価しているくらいがありますが、これは全くナンセンスです。

単なる、英語でのコミュニケーションの基礎能力を評価する尺度のひとつとしては十分意味があるとは思いますが、これだけでは決して英語での実践ビジネスへの対応力の評価は難しいでしょう。

実際、私はこれまで身近に、TOEIC900点以上の留学経験者や帰国子女を見ていますが、以前、海外からの出張者との会議に彼らも同席したことがありました。その会議の中で、“minutes”という英語が出てきたことがありましたが、あとで、留学経験者の彼らはその意味を知らなかったことを知り、びっくりしたことがあります。

“minutes”や“agenda”は、英語が不得意でも、ちょっとしたグローバルな仕事の経験のある社会人であれば、当然理解できる、知っているべき、ビジネス用語です。
(もし、意味が不明な方がおられましたら、是非、辞書で確認しておいて下さい。)

これは極端な例かもしれませんが、ようするに私が言いたいのは、TOEICの点数が良くても国際ビジネスの現場で通用しないケースもあるし、逆にTOEICの点数が悪くても、国際ビジネスの現場でバリバリ活躍している人がいると言うことなのです。これも本当です。実際、私はこれまでこのような人々と多数遭遇してきています。

とはいえ、やはり世間で有名なTOEICで、それなりの得点を英語力の証として取得されたい方が多いのも実態です。

したがって、もし、学校なり、会社なりが要求するTOEICの点数を獲得しようとするのであれば、これは実際のビジネスとはちょっと異なった対策をしないとイケないことになります。

この対策自体、別に難しいことではありません。しかし、これまでの皆さんの英語への取り組み方を変えないとイケないかも知れません。

つまり、単なる英語学習では無い、「英語のトレーニング」が必要なのです。そして、真の実践英語力を身につけた上で、TOEICで高得点を取得する為には、このトレーニングを継続させることが重要です。

○ TOEICテスト対策の心得は？

これらを踏まえると、基本的に、英語の基礎（普段から私が言っていますような、語彙力、文法力）が出来ており、実践経験豊かな人は、多分TOEICの特別な対策をしなくても、問題の形式に慣れるだけで、ある程度の点数のアップは容易な筈です。これは、実際に自分自身の経験から出ていますので、本当です。そして、この詳細に関しては、今後、この講座の中で解説して行きます。

但し、これらの人でも900点以上の高得点を取得しようとする、特別な受験テクニックやノウハウが要求される可能性があります。（ここがTOEICの難しさであり、逆に、勘所なのです！）

実際、私自身もそうでした。900点の壁はかなり高かったです。地道な勉強やトレーニングが嫌いな、この私にとっては、特に。900点の壁は高くそびえ立っていました！

よって、冒頭でも書きましたように、このTOEICで高得点を取得するためには、先ず、TOEICの内容（問題形式や出題形式、等々）を良く理解すると共に、自分の現在の実力を踏まえた上でのそれなりの対策、トレーニングを講じる必要があるのです。

しかし、ご安心下さい。この英語のトレーニングはそんなに苦痛を伴うような大変なものどころか、逆に慣れれば、楽しいトレーニングになります。本当です。これも私の実体験から言えることです。

○ 第1-2講の締めくくりとして、...

巷には、英語やTOEIC関連の書籍、ノウハウ書が氾濫しています。以前は、私もTOEICの点数を上げたくてこのような書籍を買いあさったことがありました。しかし、それはあくまでもその著者の体験を知ると言うだけで、決して読んだだけでは英語の力はつきませんし、書かれているようなことがあなたの方のやり方に合うかどうかは疑問です。仮に、そのとおりに実行して点数が上がれば、それはラッキーであったと思うべきでしょう。

けっして、万人がそのとおりにTOEICの点数があがらないと思います。この重要なことを知らない人が多く、今も、巷にはそのような書籍や教材が溢れ返っているのです。

もう、貴重なお金を費やしてそのような書籍や教材を買い漁るのはやめましょう。それは、この一連の『実践TOEIC攻略講座』を読んでからでも、けっして遅くは無いです。

それでもそのような教材が必要と感じるのであれば、それはそれで買われても結構でしょう。あなたご自身の判断ですから。値段に見合うかは別としても、当然それらの教材は色々工夫が凝らされており、何らかの英語力向上にはきっと役立つと思います。

ただ、今回この第1-2講の中で私が言いたいのは、「そのような教材を最後まで出来る人であれば、そのような教材を使わなくても英語力を上げることができ、反対に、そのような教材に頼らないといけない人は、そのような教材を本当に最後まで活用できるのかどうか、はなはだ疑問だ」ということです。

実際、これまで私は中学の頃から会社に入る頃まで、結構色々な英語関連の書籍、教材を買い続けてきましたが、高価なものほど、ボリュームがあるものほど、長続きしませんでした。

これらの教材が全く無駄であったとは言いません。しかし、実践英語力向上、TOEICの点数向上にとって、回り道であったことは確かです。結構、お金を無駄にしてしまいました。

是非、皆さんは回り道をせずに、最短コースにて、実践英語力を身につけ、その結果としてTOEICの高得点、少なくともAレベルと言われる860点以上、できれば900点以上を獲得して下さい。

大丈夫です。このメルマガを読まれているあなたであれば、きっと達成できます。たとえあなたが今、英語が不得意であったとしても、熱意さえあれば。大丈夫です！

○ この入門編こそ、重要です！

この入門編は、未だTOEICを受験されたことが無かったり、まだ初心者レベル（Dレベル以下）の点数しか取得できない読者を対象としています。

しかし、この入門編で、私が書いています内容は、その後の基礎編、応用編、実践編でも通用する重要なことです。是非、TOEICの経験者（既に、CレベルやBレベルに達しておられる方）も、最初から継続して読まれることをお勧め致します。（残念ながらAレベルで950点以上既に取得されている方々にはこの講座ではアドバイスできません。私自身も未だ950点以上の域には達していませんので。現時点では、...。m(_ _)m）

ただ、何度も言っていますようにTOEICの点数だけが問題ではありません。実践で役立つ英語力が身につくこと、その結果としてのTOEIC950点であるかどうか、問題なのです。それは、950点を取得されているご本人自身が、一番ご理解されていることだと思います。

TOEICでのAレベルないし、900点以上は、実践英語の習得に向けて、やっと本格的に取り組む素地が出来たレベルなのです。決して不可能な、難しいレベルではないのです。あなたもこの域に達すれば、きっとご理解できると思います。

次回は、「己を知る！」ということに着目して、初めてのTOEICの受験を想定して、受験するまでの準備ノウハウを伝授しましょう。

最後に、第1講でも記しましたオマケ(更新版)を再度どうぞ。

【英語トレーニング継続のヒント】

・トレーニング経過チェックリストのようなものを作り、いつ、この講座を読み、何を実施したかを記録することをお勧めします。

・私は、『TOEICテスト英語学習ダイアリー』と言う書籍（丸善発行で1,000円です。今度、私のブログの中で写真入りで、ご紹介しましょう）を買って、これに毎日の英語トレーニング記録やTOEICの受験記録をつけて管理していました。

・別に、記録は上記でなくても、何でも良いでしょう。目に見える形で、自分のやったことを管理することが、モチベーション維持のために大変重要であり、かつ、効果もあります。

・人間、積極的にやると、それにつれてモチベーションも上がり、相乗効果が生まれますが、単に言われたことだけをやっているだけだと、長続きしません。是非、ご自分の意思で進めて下さい。

・例えば、約2ヵ月後の次回6月29日の第139回TOEIC公開テストを初受験として目指し、今から計画を立てて行くのも良いでしょう。(計画的なTOEIC受験は楽しいですよ！)

英語のトレーニングも「継続は力なり」です。そして、

「英語上達、王道無きも、近道あり！」

是非、この言葉を念頭に、頑張ってください。TOEIC900点突破が、一步一步近づいてきていますよ！

(以下、続きは、本書にてお読みください。)